

お知らせ

◆NHK Eテレ・こころの時代「母なる神への旅〜遠藤周作『沈黙』から50年〜」
放送予定時間

11月27日(日) 5〜6時
再放送12月3日(土) 13時〜14時
(変更の場合もあり)

出演 山根道公、ヴァン・ゲッセル他
◆遠藤周作特集号「風」2016年秋号
執筆者 井上洋治、山根道公、若松英輔他

定価1000円(税込)
購入希望の方は風編集室へ
☎086-227-5665

◆遠藤文学講座「遠藤周作と長崎『沈黙』から『女の一生』へ」
講師 山根道公
場所 幼きイエス会
☎03-3261-0825
(四谷駅麹町口前)

□会員の皆様へ

記念グッズを同封しました！
遠藤没後20年と『沈黙』刊行50年のこの年、会員の皆様へささやかながら「周作クラブ・記念グッズ」として、特製クリアファイルをプレゼントいたします。お使いいただければ幸いです。

日時 11月13日、12月11日、2017年1月15日、2月12日(日)
受講料 15時20分〜16時50分 2000円(学生半額)
申込み 風編集室
☎086-227-5665

◆遠藤周作を読む会
場所 南山大学・南山宗文化研究所1階会議室
日時 毎月第一土曜日の14時〜16時(変更あり) ※今年11月の会はずでに終了しました。

申込み 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
南山大学文学部教授 金承哲
☎052-832-3111
(内線3466)

◆NHKラジオ第二放送「宗教の時間」
テーマ 遠藤周作の心あたたかな医療話者 原山建郎(遠藤ボランティアグループ代表)
日時 12月18日(日) 8時半〜9時
※再放送は12月25日(日) 18時半から。

◆朝日カルチャーセンター講座
講師 高橋千劍破
テーマ 新選組と隊士
日時 12月1日(木)、15日(木)ともに13時〜15時

※10月から12月まで全6回の講座ですが、すでに4回は終了し、12月のみ

残されています。内容は、草創期の新選組とかかわって惨殺された清河八郎と芹沢鴨がテーマです。
会場 朝日カルチャーセンター新宿会 新宿区西新宿2の6の1
新宿住友ビル4階
問合せ/申込み先
☎03-3344-1945

※お電話いただければ、詳細ご説明の上、払い込み用紙をお送りいたします。

◆遠藤文学関連図書(新刊)
「言行淳之介」
加藤宗哉著(慶應義塾大学出版会)
定価2800円+税

※会員割引あり(同封チラシ参照)

◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。900字(半ページ分)あるいは、1800字(1ページ分)。
遠藤周作の人と作品に関することなら何でも結構です。
なお、原稿は必ず下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」あてに郵送して下さい。

ふるってご応募下さい。

◆「周作クラブ」会員募集

遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみよう、旅にも参加してみたいと思われる若い人も大歓迎です。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折り返し会費振込み用紙をお送りします。

編集後記

▼今年の富士山の初冠雪は十月下旬で、観測史上最も遅い記録だそうです。そういえば、十月になっても25度以上の夏日が続きたりしました。子供のころ、今よりずっと秋の訪れが早く、冬も早く、十一月の霜月には初霜が、クリスマスのころには雪が降ったりしました。

▼最近、子供のころのことを、よく思い出します。老いが進んだ証拠でしょうか。あと三カ月で、遠藤先生の没年と同年です。

▼さて、今回の会報も、興味深い記事が多かったことと思います。「長崎便り」にありますが、遠藤周作と長崎は、切っても切れない関係です。そして、「とら寿し」と大竹豊彦さんと長崎も。池田静香さんの次号の「長崎便り」が楽しみです。

▼宮辺尚幹事の「劇団樹座の三十年」は、2回目ですが、早くも佳境の感があります。遠藤先生の闘牛士姿、なかなかいいですね。奇抜なアイデアがあれこれと登場しますが、さてこの珍劇団、どうなっていくのでしょうか。これも次号が楽しみです。(颯)

「周作クラブ」第65号

2016年11月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 田村百合子

■この号の編集者 岡田厚美、一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、南紀洋子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL03-3421-1521
FAX03-3421-1521

●次回の会報発行は2月の予定です。